

前回懇談会における委員発言及び関連参考資料の一覧

公庫を利用するにはある程度の住宅の広さが必要であり、地域により利用率が異なるのではないかと。

住宅着工における地域別公庫利用率 1

我が国では新築住宅への融資が中心であるが、中古住宅への融資がどうなっているのか。
中古住宅融資の進展のために、中古住宅の評価システムの整備が必要。

住宅金融公庫による中古住宅融資戸数の推移 2
中古住宅評価システムの比較（公庫とファニーメイ） 2

物件審査により、公庫融資は住宅の質の確保に貢献してきた。

公庫融資住宅に係る技術審査（個人住宅） 3
"（中古住宅） 4

質の向上についての施策は、各国ではどうなっているのか。

住宅の質の向上に関する各国の施策 5

特定の条件の人にもみ貸すというような差別化が今後多くなるのではないかと。

融資を断られた具体例について 7

ローンが返せなくなった場合の返済対策も重要。

住宅金融公庫の住宅ローン返済困難者対策の実施状況 8
民間金融機関における返済困難者への対応について 8

住宅ローン世帯では、個人消費が停滞し、景気の足を引っ張っている。

住宅ローン返済世帯の消費性向 9

国債も大量発行されたことにより、国債の発行・流通市場の整備がここ1、2年で著しく進行。

国債発行計画額の推移と国債関連の近年の主な施策 10

住宅ローンプールの証券化と不動産そのものの証券化とは2段に分けて考える必要

住宅ローンの証券化と不動産（実物）の証券化の違い 11

民間との競合を回避する観点から、米国の中小企業金融のクレジット・ディナリアル制度も1つの方法

クレジット・ディナリアル(Credit Denial)について 12

前回発言があった、「住宅ローンにおけるリスクのアンバンドリング」及び「公庫機能のアンバンドリング」についての資料は次回提出予定